

ごけん

平成 28 年

秋

号

日本語検定 実施予定

平成 28 年度第 2 回 (通算第 20 回)

[一般会場] **11月12日(土)**

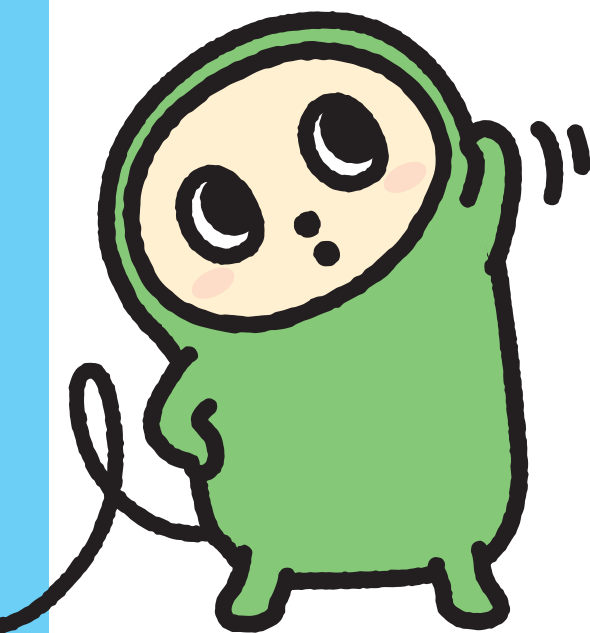
[準会場] **11月11日(金)・12日(土)**

[申込期間] **8月1日(月)~10月14日(金)**

後 援：文部科学省／日本商工会議所
経団連事業サービス／全国連合小学校長会
全日本中学校長会／全国高等学校長協会
全国工業高等学校長協会／全国商業高等学校長協会
全国高等学校国語教育研究連合会
日本 PTA 全国協議会
全国高等学校 PTA 連合会
日本青少年育成協会 他

特別協賛：読売新聞社

協 賛：時事通信社／東京書籍



日本語検定公式キャラクター「にほんご」

もくじ

ごけんメッセージ 小松俊樹	2
ごけん情報板	4
採点室から	5
会場レポート	6
日本語大賞について	7
受検団体の声	8
にほんご にほんご劇場	10
受検案内／プレゼント・クイズ	12

特定非営利活動法人

 **日本語検定委員会**

デジタル時代に思う

最近実感すること

家人に携帯電話（ガラケー）への電話帳登録を頼まれた。iPhone歴7年。ガラケーを開いて、はたと手が止まった。画面上の「メニュー」を指先で押したが、動くはずもない。ガラケー上のボタンを何個も押したが、ギブアップ。ガラケーが使えない自分に愕然とした。

デジタル革命のおかげでスマートフォン（スマホ）一つで何でも可能な時代になった。指一本で何でもできる便利さと引き換えに、今まで体得したものが脳内から消えていく。パソコンの自動変換に慣れ、いざ手書きしようとしても正確に書けない漢字が増えた。日本語力の衰えを実感する。子どもの頃、新聞は先生だった。新聞を見て読めない漢字を聞いたり書いたりして覚えるのがうれしく、野球の打撃や投手の十傑の数字から、打率や防御率の出し方を発見して大喜びしながら覚えたのに…。

日本語との格闘

20年を超す記者生活では、日本語と真剣に向き合ってきた。入社1年目は先輩記者の電話送稿を原稿用紙に書き取り、チェック役のデスクに渡す日々。言葉の意味や文脈が分からなければ正確に再現できない。初めての言葉も多く常に真剣

勝負だった。社内には「未必の故意」「密室の恋」と書き違い大目玉をくらったなど、逸話も多い。

記者時代は、目の前で進行する出来事や議論、つまり人の動作や会話をきちんと文章に、しかも長文にならず簡潔に、かつ早く原稿に仕立てる作業が日常になる。これがまた難しい。駆け出し時代は何度も書き直しを命じられる。デスクの口を封じられるだけの完全原稿が書けたのは、記者卒業直前だった。

デスクに上がると攻守ところを代え、無駄なく正確に事象を伝える最終関門を受け持つ。文章を生業とする記者たちだが、概して文章はうまくない。寸分の隙もない完璧な原稿の書き手は、8年間のデスク生活で1人だけ。ほとんどの記者は手がかかる。それほど、正確かつ簡潔に伝えることは難しく職人技だと思う。だから紙面化までに幾多の職人の手を経た新聞の記事は、難しい政治や経済、外交の話であっても、水が砂にしみ込むように頭の中に入ってくる。例えれば精米度80%以上の上質の日本酒のようだ。

もう一つ難しいのが「見出し」。どんなに複雑な内容でも読者が一目で分かるよう、「8～12文字以内」が目安になる。これはまさに職人芸。他社の秀逸な見出しを書き留め、俳句や短歌、川柳をよく読む。リズム感も理解を助けるからだ。

プロ野球でヤクルトスワローズが逆転サヨナラ勝ちした時、某紙は「ヤクルトツバメ返し」。これには唖った。

正しい日本語の維持と伝承を

今後、幼少期からスマホやタブレットに触れてきたデジタルネイティブが大学生になり、新聞を読まない層が増え続ける。交流の手段は、手紙や電話から、メールやツイッター、フェイスブックなどSNSに移る。伝える思いや感情も「いいね!」「スタンプ」「絵文字」が取って代わる。その方がびったりくるケースもあるとはいえ、活字離れは進む。これが常態化すると、漢字を書けない、読めない若者が増えないか、心配は尽きない。デジタル教科書が普及する近未来でも、コミュニケーションの基礎となる日本語、国語だけは、鉛筆と消しゴムを使って漢字の書き取りをしたり作文を書いたりという、五感で覚える授業を続けてほしいと願う。

今年、元大関の小錦さんに会った。NHKのEテレの幼児番組「にほんごであそぼ」に10年以上出演し、子どもたちと一緒に日本語を勉強して、今では本当に流暢に話す。この番組は、出演者の美輪明宏さん、野村萬斎さん、中村勘九郎さんのほか、音楽はおおたか静流さん、振り付けはラッキィ池田さんら豪華メンバーが参加し、宮沢賢治や中原中也の詩



や、昔の数え歌などを引用して、子どもたちに日本語の素晴らしさを伝える。美しい日本語を残そうという強い意思を感じさせる、とてもいい番組だ。

同様に、日本語検定も正しい日本語を維持、伝承する役目を担う。1～3級は難問も多く、自分の日本語力の弱さを痛感する。ゲームを楽しむように通勤通学時にスマホで日本語テストができれば、知らぬ間に国語力がつくかも知れない。その先の腕試しが日本語検定。デジタル時代、そんなシーンがあっていい。

小松 俊樹(こまつ としき)

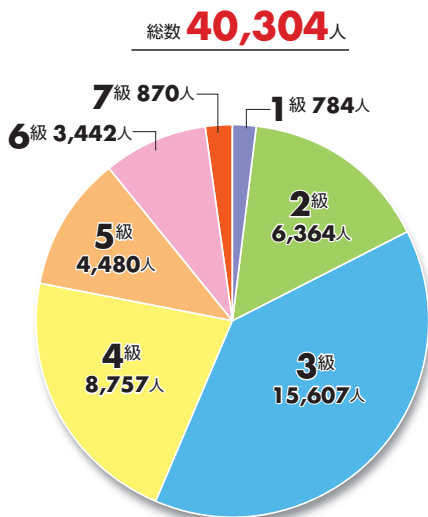
1952年生まれ。島根県出身。1977年、時事通信社に入社。内政部で総務省、厚生労働省など行政分野を取材。デジタルメディア事業本部長などを経て2015年から常務取締役。2016年から日本語検定委員会審議委員長。

ごけん情報板

おかげさまで、日本語検定は今年、10周年を迎えました。このコーナーでは、今年6月に実施いたしました、平成28年度第1回（通算第19回）日本語検定について、各級の受検者数などのデータをご紹介します。

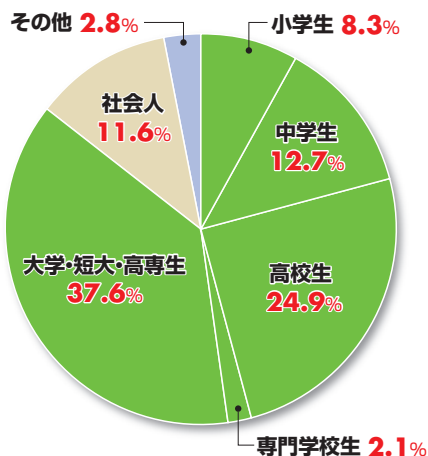
◎平成28年度第1回（通算第19回）日本語検定

■受検者総数と級別受検者数

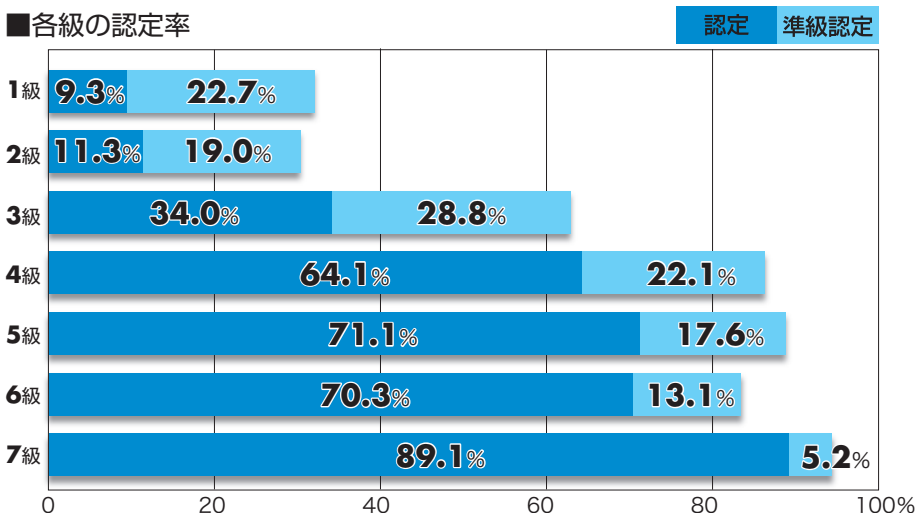


今回は、全国47都道府県の91都市に一般会場を設置しました。最年長受検者は、東京都の93歳の男性で2級を受検、最年少受検者は、神奈川県の子供園の男子（5歳）で7級を受検しました。

■受検者の属性別割合



■各級の認定率



1～5 級で、正答率が低かった問題をご紹介します。
いずれも、「漢字を書く」ことが含まれています。

■ 3～5 級では、文中で漢字の使い方が誤っている言葉を見つけ、その正しい書き表し方を記入する問題が出されています。

○母は昨夜、公会堂で大好きな劇団の講演を見たそうだ。(5 級問題—正答率 27.3%)

★この場合、「講演」は「**公演**」が正しい書き表し方です。「講演」が誤っていると考えた人のなかには、「構演」という実際にはない表記を作ってしまった人もいました。また、「公会堂」が誤っていると考えて、「公開堂」や「講會堂」と答えた人もいました。

○同じキリスト教でも、教会の建築洋式は時代や宗派によって全く異なるそうだ。

(4 級問題—正答率 36.3%)

★「洋式」は、「**様式**」が正しいのですが、「洋」がおかしいと分かっても「様」を思い出せず、「用式」と答えた人がいました。

○大学で必要科目を履修して、二年以上病院等で実務に住持すると、この資格が取得できます。

(3 級問題—正答率 28.5%)

★「住持」が誤りと分かっても「**従事**」と正確に書くことが難しかったようです。「住事」「往事」「充事」などとした答えや、「従持」「従侍」「従示」などとした答えがありました。

■ 1・2 級では、□に入る適切な漢字一字を書き、四字熟語を完成させる問題が出されています。1 級では、二つの文のなかからその言葉を適切に用いているほうの文を選ぶ問題とセットになっています。

【豪放磊□】

(2 級問題—正答率 28.0%)

大村さんのような豪放磊□な人が飛行機を怖がるとは、私には意外だった。

★(誤答例)「豪放磊慢」「豪放磊満」(正答)「豪放磊**落**」(ごうほうらいらく)

【□面玲瓏】

(2 級問題—正答率 7.4%)

富士山は、東西南北どの方面から見ても美しいことから、□面玲瓏と形容される。

★(誤答例)「四面玲瓏」「全面玲瓏」(正答)「**八面玲瓏**」(はちめんれいろう)

【不□要領】

(1 級問題—正答率 38.3%)

①今の君の不□要領な説明で、私たちが状況を把握できると思うかね。

②彼の講義は不□要領でも壺を押さえているので、学生の評判がいい。

★(誤答例)「不明要領」「不備要領」(正答)「不**得**要領」(ふとくようりょう)で①

【□河夜船】

(1 級問題—正答率 36.0%)

①振り返れば私の人生は、荒波の中の□河夜船のようなものだった。

②昨晚は疲れていて□河夜船だったので、隣家の泥棒騒ぎも今朝知った始末だ。

★(誤答例)「朝河夜船」「荒河夜船」(正答)「**白河夜船**」(しらかわよふね)で②

漢字そのものは決して難しいものではありませんが、文脈に即した漢字を正確に書くことが求められています。もちろん、問題に取り上げられた四字熟語の意味を正確に理解していることも不可欠です。

ここで取り上げた問題に限らず、どの級でも、漢字を正しく書けないことでつまづくケースが多くありました。とくに熟語では、意味や用法をなんとなく覚えているけど自信がない……からか、当てずっぽうで答えたのではと思われる誤答もありました。日頃から漢字の意味を考え、文脈に合った表記になっているかを注意するように心がけましょう。

会場レポート

東京 23 区会場・大正大学

去る 6 月 18 日（土）、全国 91 か所の一般会場で、平成 28 年度第 1 回日本語検定が実施されました。今回、東京 23 区の一般会場となったのは、豊島区西巣鴨にある大正大学で、1 級から 7 級まで合計 961 名が受検しました。

検定当日は朝から気温が 30 度を超える真夏日となり、大学の正門をくぐる受検者には半袖姿が目立ちました。午前の部（2 級・4 級・6 級）では、検定開始の 1 時間以上前から校舎のロビーや廊下などで待機している人もいました。

開始 1 時間前に各教室の扉が開かれると、受検者が次々に入場し、座席の半分近くがあっという間に埋まりました。着席した受検者は、すぐに問題集を開いて真剣な眼差しで目を通して、合格への熱意が伝わってきました。

今回、会場に取材に行ってみて驚いたのは、受検者の年齢層が実に幅広いことです。時事通信社の升谷昇記者のご協力を得て、何人かに受検動機などを聞いてみました。

2 級の会場にいた、アナウンサー志望だという女子大生は、「コミュニケーション能力を磨きたいと思ったから」と答えてくれました。同じく 2 級受検者で 20 代の男性サラリーマンは、日々の業務の中でメールでの意思疎通の難しさを実感し、「正しい敬語や誤解を招かない表現を使えるようになりたいと思った」と言っていました。

4 級の会場には、70 代男性の受検者がいました。「最近プロのアナウンサーでも言葉遣いが乱れている。果たして自分の日本語は大丈夫だろうか」と不安に思ったことが



受検理由だとのことでした。同じ 4 級の会場に、小学 4 年生（9 歳）の女の子もいました。「正しい日本語を使えるようになりたい」ので、漢字検定やことわざ検定にも挑戦中だと教えてくれました。

検定開始前の僅かな時間での取材でしたが、日本語検定の裾野の広がりを実感した一日となりました。

第8回「日本語大賞」作品募集

日本語検定委員会は、日本語の持つ美しさや言葉の力を見直そうという趣旨で「日本語大賞」を設け、日本語をテーマとしたエッセイや作文を募集しています。

テーマ：「あまり使いたくない日本語・ もっと使いたい日本語」

*テーマについて、自由な発想で書いてください。「あまり使いたくない日本語」だけ、「もっと使いたい日本語」だけをテーマにして書いていただいてもかまいません。作品にはテーマにふさわしい独自のタイトルを必ずつけてください。

【募集期間】平成28年6月1日（水）～9月30日（金）

【部門・字数】（※字数は目安です）

- ◆一般の部 2000字～3200字
表彰：文部科学大臣賞1点／優秀賞2点／佳作5点
- ◆高校生の部 1200字～2000字
表彰：文部科学大臣賞1点／優秀賞2点／佳作5点
- ◆中学生の部 1200字～2000字
表彰：文部科学大臣賞1点／優秀賞3点／佳作5点
- ◆小学生の部（高学年） 600字～1200字
（中・低学年） 400字～1000字
表彰：文部科学大臣賞1点／優秀賞3点／佳作5点

【応募方法】

日本語検定ホームページをご覧ください。

<http://www.nihongokentei.jp>

【作品送付先／お問い合わせ】

特定非営利活動法人  日本語検定委員会 日本語大賞係

〒114-8524 東京都北区堀船 2-17-1

☎ 03-5390-7472

✉ contest@nihongokentei.jp

*過去の受賞作品は、日本語検定のホームページで
ご覧いただけます。

第7回日本語大賞 作品集『私が使いたい言葉』



国語力で学力を高める

安田学園安田小学校
校長 新田 哲之先生



安田小学校では、国語力を高めてすべての教科の学力をレベルアップするという考えで教育しています。そのために国語力プロジェクトを立ち上げ、昨年は「聞くこと・話すこと」に力を入れました。人の話を聞くときには話している人のほうを向いて聞くこと、そして、ただ聞くのではなく、聞いたことを自ら考えて、理解することを通して、聞く態度や聞く力をつけています。話すことで言えば、ていねいに的確に話すことを児童の目標にしています。特に、ていねいに話すことは児童の将来にとって必要なことです。社会に出て人と話をするときに、相手を敬う言葉が使えるようになってほしいものです。その点で、日本語検定は敬語の問題の質が高く、充実しており、敬語が日常生活で使える力を見る問題になっています。

また、本校では今年、「書くこと」にも力を入れ、ノート検定や日記指導を始めました。ていねいに論理的に書く力をつけるための試みで、先生たちの指導の下、書く力の向上に取り組んでいます。このような国語力を高める本校の指導方針は、日本語検定の趣旨と合致していると思います。

自己実現を目ざす学生のよき指南車

名古屋学芸大学 教授 新谷 裕先生

アウグスティヌスは著書「教師論」で、「教師は決して生徒の前で言葉を疎かに用いるべきではない」と述べている。教師も生徒も真理の前には本質的には同じ者として立つということを意味している。日々の講義の中で、言葉を使ってもものの真理を追求するためには、正しい言葉の遣い方が重要だといえる。本大学には、教職を目ざす学生が多数いる。小・中学校・幼稚園教諭、養護教諭、栄養教諭、保育士等々を目ざし、自らの言語能力を高めるよう取り組んでいる。教職ばかりではない。人の前に立って自分の考えを他者に伝えるといった点では、どの職種においても言葉の重要性は変わらない。多くの大学生が、社会に羽ばたくためには、正確な日本語を話すということが必須である。異種の学習において十分な日本語力を持つ

日本語検定で高校生に自信と学ぶ楽しさを

太平洋学園高等学校
進路部長 藤田 毅先生

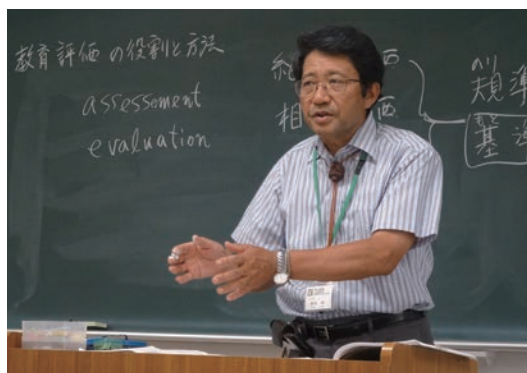


本校は定時制・通信制課程を設置した単位制総合学科の私立高校です。入学者の多くは中学校まで不登校を経験したり、他の高校を中退して転・編入学したりしてきた生徒たちです。結果的に十分な学習機会を保障されてこなかった生徒たちも少なくありません。そうしたなかで本校は、県内の高校ではいち早く日本語検定を「総合」等の時間に導入し、一定の級の合格者（準3級以上）に対して単位認定をしてきました。

ある年のことです。勉強が苦手とくに国語は文字を見るのもイヤ！という生徒がいました。検定の過去問題を渡しても最初は見向きもしなかったのですが、第1問「敬語」の問題を解いてみたところ思ったよりできていることがわかり、学習を続け、検定を受検し合格することもできました。よほど嬉しかったのか、1日中合格証を校内で見せ歩いていました。検定合格が「自分にも勉強ができる」という自信につながったのです。

最近では、なかなか進路希望の定まらなかった生徒が、検定の学習を通して日本語のおもしろさに気づき、文学や言語学を学ぶ大学への進学を果たしました。検定合格は、授業など普段の学習+αの努力を証明するものです。その際に、漢字の細かな知識よりも、文脈や状況における語句の適切な使い方を問う本検定は、その+αの成果が着実に反映され、「勉強ができない」と思っている高校生にとって、自分を見直すチャンスになるのではないのでしょうか。

て大学に入学した筈の学生が、就職という大きな壁の前では、自信を持って自らの言語能力を発揮できないのが現状である。就活を目前にした学生を対象に小論文や面接指導を実施していく中で、日本語の能力を高める必要性を痛感している。又その学習の成果を個々人が確認するために、日本語検定は大きな役割を果たしている。6つの領域



のバランスがどの程度保たれているかを知ることが基準となって、自身の言語能力の目標が立てられる。後はこの目標を目ざし自己実現に向かって邁進する。人の前に立って人を導く為には正しい日本語力が、自己実現を目ざすよき指南車となるのではないだろうか。

にほんにほんて劇場



絵：福政 真奈美

「^{そな}備えあれば^{うれ}憂いなし」

ふだんから、いざというときのための用意をしておけば何が起こっても心配はないということ。

【例】 備えあれば憂いなしというから、父は出かけるときはいつもおりたたみがさを持っている。



印刷テクノロジーで、
世界を変える。

TOPPAN

凸版印刷株式会社 〒101-0024 東京都千代田区神田和泉町1番地 www.toppa.co.jp

ひとり、ひとりに情報のカタチを。

ひとり、一人に、「伝える」こと。

一人、ひとりに、「伝わる」こと。

明細票や宅配伝票など
誰もが利用しているビジネスフォーム。
私たちは、ビジネスフォームの
トップメーカーとして情報をデザイン
することで社会と繋がっています。

トッパン・フォームズ株式会社

本社 〒105-8311 東京都港区東新橋1-7-3 TEL.03-6253-6000 <http://www.toppa-f.co.jp/>

TOPPAN FORMS

Training of ANA 人とビジネスにANAの研修力

ANAが培ってきたノウハウを凝縮した研修プログラムで人材育成をお手伝いします。

※公開講座・講師派遣2形態で展開しています。

接遇& ビジネスマナー

OMOTENASHI & BUSINESS MANNER

接遇とはお相手と心通じ合うように
接すること(おもてなしをする)。
言葉遣いの大切さなどをお伝えします。

ヒューマンエラー 対策

COUNTERMEASURES AGAINST HUMAN ERROR

「ヒューマンエラーはゼロにはならない。」という
人間特性を体感したうえで、エラーの影響を
コントロールする方法をお伝えします。

研修に関してのご質問・ご相談は、
お気軽にお問い合わせください。

ANA  ANAビジネスソリューション株式会社 〒108-0074 東京都港区高輪4丁目10-18
TEL.03-5791-2910 9:00-18:00(土・日・祝・年末年始を除く) <http://www.anakenshu.com/>

平成 28 年度
第 2 回
日本語検定
受検案内

[一 般 会 場] **11月12日(土)**
[準 会 場] **11月11日(金)・12日(土)**
[申 込 期 間] **8月1日(月)～10月14日(金)**
[実 施 都 市] 全国の約90都市で実施予定

[受検級の目安と受検料] ※受検料は税込価格です。

受検級	各級のレベル	受検料	受検時間	受検の目安						
				社会人	大学生	高校生	中学生	小学校 高学年	小学校 中学年	小学校 低学年
1 級	社会人上級レベル	6,000 円	60分							
2 級	大学卒業レベル～ 社会人中級レベル	5,000 円								
3 級	高校卒業レベル～ 社会人基礎レベル	3,500 円								
4 級	中学校卒業レベル	2,000 円	50分							
5 級	小学校卒業レベル	1,500 円								
6 級	小学校 4 年生レベル	1,500 円								
7 級	小学校 2 年生レベル	1,400 円								

公式ホームページ <http://www.nihongokentei.jp>

プレゼント・クイズ

問題:「にほんごん にほんご劇場」で取り上げたことわざは何でしょうか。

○の部分を持って完成させてください。

『○○あれば憂いなし』

抽選で5名様に、オリジナル『にほんごクリアファイル』『にほんごメモ』セットをプレゼントいたします。はがきに、クイズの答えと、お名前、性別、年齢、ご住所、ご連絡先(お電話番号またはメールアドレス)を明記のうえ、日本語検定委員会までお送りください。平成 28 年 11 月 30 日の消印まで有効です。当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

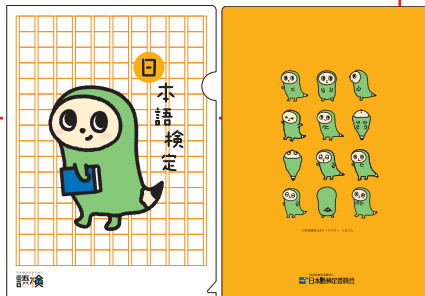
(応募の際の個人情報は、本プレゼント以外では使用しません。)

特定非営利活動法人
日本語検定委員会

〒114-8524 東京都北区堀船 2-17-1

【お問い合わせ先】 **0120-55-2858**

<http://www.nihongokentei.jp>



げけん 平成 28 年秋号 (No.20)